令和2年度

教育委員会点檢·評価報告書 (対象:令和元年度事業)

令和2年11月 田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和元年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施について

(1)対象事業

令和元年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「2019年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2)評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価委員)

髙橋 邦子 (元町教育委員) 田中惠美子 (元町小学校長) 木村 正嗣 (元中学校長)

(評価基準)

- A:目的に対し、順調に事業が達成できた。
- B:事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
- C:目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
- D:事業の抜本的な見直し、休·廃止の検討が必要である。

3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経 費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	705	A	
2	スクールバス運行事業	16, 317	A	
3	小学校管理事業	157,453	A	
4	小学校教育振興事業	2,336	В	
5	中学校管理事業	46, 358	A	
6	中学校教育振興事業	2,578	В	
7	保健関係事業	3, 719	A	
8	就学援助事業	10, 420	A	
9	教員補助者設置事業	6, 364	A	学校教 李钿
1 0	幼稚園就園奨励費事業及び多子世帯保 育料等軽減事業	7, 471	A	学校教育課
1 1	幼児教育推進事業	l	A	
1 2	生徒指導推進事業	1, 235	В	
1 3	学力向上推進事業	8, 272	A	
1 4	体力向上推進事業	l	A	
1 5	特別支援教育推進事業	_	В	
1 6	キャリア教育推進事業	_	В	
1 7	コミュニティ・スクール(CS)推進事業	250	В	
1 8	学校給食センター運営事業	62, 854	A	

No	事業の名称	経 費 (千円)	評価	担当課
1 9	生きがい教室開催事業	346	A	
2 0	学校·家庭·地域連携協力推進事業	2, 204	A	
2 1	成人式開催事業	520	A	
2 2	人権教育推進事業	475	A	
2 3	青少年の健全育成事業	700	A	
2 4	地域公民館まつり開催事業	430	В	
2 5	公民館運営事業	18, 580	A	
2 6	公民館施設管理事業	18, 834	С	社会教育課
2 7	図書館管理運営事業	13, 872	A	
2 8	郷土館管理運営事業	8, 803	В	
2 9	埋蔵文化財調査事業	34, 940	В	
3 0	スポーツ推進体制強化事業	455	В	
3 1	生涯スポーツ推進事業	2, 064	В	
3 2	我がまちスポーツ推進事業	_	A	
3 3	スポーツセンター管理運営事業	20, 214	В	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課			
事業の名称	教育委員会運営事業					
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び	学校訪問等				
事業の実績	 ・教育委員会会議及び協議会:6回 ・総合教育会議開催:2回 ・教育委員学校訪問:11月5日(小学校4校、中学校1校、給食センター) ・教育委員研修会等 ①山口県市町教育委員会委員研修会:4月16日(山口市) ②柳井地域教育委員等研修会:11月29日(柳井市) ③山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3月25日(山口市) ・その他教育関係行事(小中学校入学式・運動会等)への出席 委員報酬[690,800円]、評価委員報酬[15,000円] 					
事業の経費	705 千円					
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及 事業の成果と課題 価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を 回開催し、各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。					
評価	A コロナ禍により規模縮小となった行事等はあるが、達成評価として記載の通り。					

施策名	学校教	対育の充実	担当課	学校教育課			
事業の名称	スクー	ルバス運行事業					
事業の概要		推通学となる児童生徒の通学条件の緩和を クシーの運行を交通業者に委託	:図るため、町	所有のスクールバス3			
事業の実績	・麻郷小・田布施・東田布・校外学スクール運行委託	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習の時間や中学校部活動に利用 ・麻郷小学校 1台 (対象人数: 19人) ・田布施西小学校 1台 (対象人数: 5人) ・東田布施小学校、田布施中学校 1台 (対象人数: 7人) ・校外学習(39回)、部活動利用(19回) スクールバス購入[6,339,950円] 運行委託料[8,037,912円]、修繕料[668,171円]、消耗品[74,000円]、 燃料代[855,439円]、保険料[28,370円]、車検[263,912円]、重量税[49,200円]					
事業の経費	16, 31	16, 317 千円					
事業の成果と課題	遠距離通学の児童生徒の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。また、土曜の部活動参加用の運行を開始した。 課題であったバスの老朽化については、令和元年度に新規車両を購入した。 今後もスクールバスの適正な運用管理を行う。						
評 価	A	バスの新規購入や十曜日の部活動参加への対応等、通学条件の緩和や					

110.0	T		 			
施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課			
事業の名称	小学校管理事業					
事業の概要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。					
事業の実績	・田布施町立小学校 4 校空調設備設置工事 13 ・田布施町立小学校扇風機設置工事	月) 00 34 33 32 40 76 00 20 18 02 05 3,948 千円 4,120 千円 1,674 千円 2,090 千円 695 千円	品 299,860 円])			
事業の経費	157,453 千円					
児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設のを実施した。 城南小学校で昨年に続き和式便器の使用が難しい児童のため、一部トイ 事業の成果と課題 便器取替工事を実施し改善した。町内学校の和式便器の洋式化を計画的でいく。 懸案事項であった、小学校空調設備設置工事(平成30年度補助事業)に 事業により、令和元年度に整備を行った。						
評 価	昨今の気温上昇の問題もあり、小学校へ空調が設置できたことは評価 A できる。今後も予算を確保し、必要となる工事・修繕等を進めていた だきたい。					

110.4					
施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	小学校教育振興事業				
事業の概要	児童、教職員の教育振興 時間等関係経費、教職員研		ある。主なもの	は、総合的な学習の	
事業の実績	・バス・渡船借り上げ料 (陸上記録会、音楽会、 ・教材備品 ・図書購入費 各種負担金、補助金 内訳 教職員理の 教職員会 県郡教育研究会 県郡教育研究会 小学体育連盟 養護教諭研修会 事務職員会 学校保健連合会 修学旅行 合 計	(陸上記録会、音楽会、総合的な学習) ・教材備品 743 千円 ・図書購入費 713 千円 各種負担金、補助金 583 千円 内訳 R1 (円) 教職員研修 150,000 県郡校長会 128,800 県郡教育研究会 57,000 小学体育連盟 5,100 養護教諭研修会 16,000 事務職員会 20,000 学校保健連合会 14,780 修学旅行 77,976			
事業の経費	2,336 千円				
事業の成果と課題	毎年、図書蔵書の充実を進めている。また、令和2年度以降にICT整備(タブレットを一人につき一台)を進めていくため、整備計画を定めて計画的に備品等の整備を行うとともに、効率的な運用を行う。				
評 価	I C T 整備については、教員のサポートも含め進めていただきたい。 自担金・補助金等については、可能であれば予算を削減し、消耗品や 備品購入等の優先度の高い事業での活用を検討されたい。				

10.5						
施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
事業の名称	中学校管理事業					
事業の概要	所管する中学校の施設の維	性持管理及び学校設 値	備等の整備を	行 う。		
	•光熱水費	5,812 千円				
事業の実績	 ・点検管理業務等の委託9件 内訳 消防設備点検 電気保安管理 清掃業務 プールろ過器保守 貯水槽清掃 ビル管理 シンクラシステム保守 合計 ・修繕費 ・工事費 田布施中学校応接室空記 ・学校用備品 		桑越)※前払レ゙	· 30,800,000 円 702,000 円		
事業の経費	46, 358 千円					
事業の成果と課題	生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。 大規模改修工事(老朽)は、I 期 II 期令和元年度繰越事業として、設計・工事の契約を行い令和2年度に完成を目指す。					
評 価	A 中学校に関しては されたい。	大規模改修工事もあ	り、引き続き	き施設整備の対応を		

施策名	学校教育の充実		担当課	学校教育課		
事業の名称	中学校教育振興事業					
事業の概要	生徒、教職員の教育振 時間等関係経費、教職員	興・充実を図る事業等で 研修会等への補助金	ある。主なもの	Dは、総合的な学習の		
事業の実績	・総合的な学習における講師謝金 18 千円 ・バス借上げ料 103 千円 ・教材備品 190 千円 ・図書購入費 432 千円 ・部活動備品 270 千円 ・各種負担金、補助金 1,565 千円 内訳 R1 (円) 事務職員研修会 10,000 養護教諭研修会 4,000 県郡教頭会 22,500 県郡教育研究会 45,000 中学体育連盟 278,050 学校保健連合会 8,540 中学文化連盟 41,500 修学旅行 116,440 部活動指導 360,000 県大会出場助成 500,000 教職員研修会 144,000 合計 1,564,030					
事業の経費	2,578 千円					
事業の成果と課題	毎年、図書蔵書の充実を進めている。 また、令和2年度以降にICT整備を進めていくため、整備計画を定めて計画的に備 品等の整備を行う。 部活動備品については、部活動に支障が起きないよう、年次的、計画的に更新をし ていく。					
評 価	B 部活動備品に関して、引き続き計画的に整備を進めていただきたい。					

施策名	学校教	学校教育の充実			学校教育課	
事業の名称	保健園	関係事業				
事業の概要	学校仍	保健法に基づく小中学権	交児童生徒や教職	員の各種の村	食診等	
事業の実績	教職員教職員児童生就学時	 ・教職員健康診断(基本検診) ・教職員健康診断(胃検診) ・教職員健康診断(結核検診) ・児童生徒心臓検診 ・就学時健康診断 ・児童生徒健康管理 491,180円 236,440円 83,613円 708,804円 556,200円 1,641,850円 			三、中1年)	
事業の経費	3,7	19 千円				
事業の成果と課題	児童生徒や教職員の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な 対応をしている。また、町内での受診が難しい場合、近隣の教育委員会と調整を図り ながら、未受診がないように実施している。					
評 価	A 引き続き未受診のないよう、対応を進められたい。					

施策名	学校教	数育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	就学技	爰助事業				
事業の概要	経済的	りな理由による就学困難な児童生徒の保護	養者に対して、	必要な援助をする。		
事業の実績	学用品 新入学 ・中学校 学用品	・小学校 学用品費 82 人[1,792 千円]医療費 0 人[0 千円]給食費 82 人[3,418 千円] 新入学準備金 8 人[405 千円] ・中学校 学用品費 54 人[2,059 千円]医療費 1 人[4 千円]給食費 53 人[2,342 千円] 新入学準備金 7 人[402 千円]				
事業の経費	10,420 千円					
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うとともに、H29年より、新入学児童生徒に入学準備金を3月に支給し、より充実した援助となった。					
評 価	A	引き続き充実した援助を継続されたい	0			

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	教員補助者設置事業				
事業の概要	特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。				
事業の実績	東田布施小学校 2名 城南小学校 2	2名 2名 8名			
事業の経費	6,364千円				
事業の成果と課題	特別な教育的支援を必要とする児童に対して、より良い学習環境を提供するため 教員補助者を各小学校に2名配置している。よりきめ細かな指導を行うため、継続していく必要がある。				
評 価	教員補助者本人や学校の要望も踏まえつつ、バランスの良い教員				

施策名	学校教	学校教育の充実 担当課 学校教育課				
事業の名称	幼稚園	園就園奨励費事業及び多子世帯保育料等	軽減事業			
事業の概要	及び保育	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。この対象者で18歳未満の者のうち年長者から3人目の園児がいる世帯に対して補助金を支給する。				
事業の実績	子世帯の	令和元年度は町内在住の園児 105 人を対象に保育料等の一部を補助した。また、多子世帯の対象にあたる、10 人に補助した。なお、10 月より保育料が無償となるため、9 月末までの保育料が対象。				
事業の経費	7,361 千円(幼稚園就園奨励費) 110 千円(多子世帯保育料)					
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担軽減の支援を行った。本事業は令和元年度9月末で終了し、「幼児教育・保育の無償化」に移行。					
評 価	A 9月末で終了の事業で、達成評価としては記載の通り。					

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	幼児教育推進事業				
事業の概要	会生活における望ましい習慣や態	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。			
事業の実績	・幼保小中連携会議の開催(年3回・5歳児発達相談会での就学に関す・就学時健康診断の実施・保健師と連携した就学に係る幼保・小中教員による幼保園訪問の開係	る相談、助言 園訪問			
事業の経費	- 千円(No.7の事業経費に含まれる)				
事業の成果と課題	幼保小中連携会議を3回実施し、基本的生活習慣の現状把握と指導助言を実施した。また、小中教員や保健師等と連携した幼保園への訪問や、幼保園と小中学校教員による合同研修を実施し、情報の共有や連携を図ることにより、適切な就学に繋がっている。				
評 価		早い段階で就学に関して 保健関係部門とさらに	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

110.12	7	1		
施策名	学校教育の充実	担当課 学村	交教育課	
事業の名称	生徒指導推進事業			
事業の概要	児童生徒が互いの心身を大切にし尊重し合える た指導体制の確立、また、いじめや不登校への早ま たきめ細かな支援体制を確立する。		, , , , , , ,	
	・スクール・カウンセラー(SC)、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の積極的な活用 (定期的・臨時的相談、訪問含む) ・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実 ・GAP調査(児童生徒理解のための受容感プロファイリングツールとして活用している)			
事業の実績	・ケース会議の開催 (学校の要請により、スクール・カウンセラー、スク 児童相談所、関係各課の参加) ・町民福祉課との情報交換実施	ール・ソーシャル・ワー	カー、警察、	
于 未 V 天 順	H28 小3人 中16人 小1人 中4人 小1 H29 小2人 中11人 小1人 中5人 小5 H30 小2人 中8人 小3件 中7件 小1	じめ(認知件数)】 人 中9人 5人 中6人 11件 中10件 14件 中10件		
	委託料 176,022 円 不登校総合対策事業 学習支援員 臨時雇賃金 770,000 円 SC賃金 246,750 円 旅費 41,440 円			
事業の経費	1,235 千円			
事業の成果と課題	小学校の不登校については横ばいであるが、中学校は増加している。暴力行為は 小中学校とも減少だが、意識や認知度の高まりによりいじめの件数は増えている。 小中学校、スクール・ソーシャル・ワーカー、スクール・カウンセラー等と連携し、これ らの対応に当たっており、いじめに関しては改善方向に向かっている事案も増えてい る。 今後も、各学校・関係機関や専門家との連携を密にし、早期発見・早期対応はもと より、個に応じたきめ細かな支援体制のさらなる強化が必要となる。			
評 価	B 問題解決のためには、各小中学校や関係 連携の強化を図られたい。また、スク ーシャルワーカーは他市町でも活動され あるが、可能な限り田布施町での活用の	ールカウンセラーや れ、時間の確保が困	ウスクールソ 難な場合が	

施策名	学校教	教育の充実	担当課	学校教育課	
事業の名称	学力[向上推進事業			
事業の概要		学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、 学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。			
事業の実績	・校内研・授業改・町学力「山口	・指導主事の学校訪問による指導、支援 ・校内研修(研究授業)への指導・助言 ・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言 ・町学力向上担当者会議(年3回)の開催による「全国学力・学習状況調査」及び「山口県学力定着状況確認問題」への対応 ・「田布施町成長診断テスト」の実施及び指導による学力、成長の保証			
事業の経費	8,2	8,272 千円			
事業の成果と課題	ダによる 向上に 水準を供 今後も 修の推済	研修主任を中心とした学力向上に向けた授業・学習活動や、学力向上推進リーダによる授業参観や指導助言により、各校の教員の授業力向上・児童生徒の学力向上につながっている。結果として、田布施町の児童生徒の学力は県内でも高い水準を保っている。 今後も、関係機関との連携による学習支援や放課後学習等の活用、ユニット型研修の推進による教職員の人材育成や授業改善を進めていくことで、児童生徒のさらなる学力向上を目指す。			
評 価	A	指導や調査の中から得られた課題をも られたい。	とに、さられ	なる学力向上を図	

施策名	学校教	 教育の充実	担当課	学校教育課		
事業の名称	体力[向上推進事業				
事業の概要		の授業や町の体育的行事等を核としなが 生徒の体力の向上を目指す。	ら、体育的活	動の充実を図るととも		
事業の実績	・町内小・体力テ	・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導 ・町内小学校水泳記録会、町内小学校陸上記録会への参加 ・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 ・スポーツまつり、町内一周駅伝競走大会等への小中学生の積極的参加の指導				
事業の経費	– 1	- 千円(No.2等の事業経費に含まれる)				
事業の成果と課題	を利用し の参加の けてのii た。 今後、	各学校で「体力向上プログラム」を作成し、始業前や業間体育、昼休み、放課後等を利用して体力向上に取り組んだ。町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組を行った。体力テストに向けての正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、成果が見られた。 今後、県トップレベルを維持していくために、体力面での課題である投力・握力に重点をおいた指導の工夫や、日常的な運動習慣化の工夫が必要と思われる。				
評 価	A					

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課			
事業の名称	特別支援教育推進事業	1				
事業の概要	児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニー解のもと、教育的支援を計画的に推進する。	ーズに対して、	、正しい認識と共通理			
事業の実績	 ・町教育支援委員会の開催 ・町校内コーディネーター研修会の開催 ・町効保小中連携会議の開催(年3回) ・就学に係る幼・保園訪問、相談会の実施 ・就学時健康診断の実施と結果の通知 ・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの ・各学校における特別支援学級等設置状況 麻郷小学校 :自閉症・情緒障害、知的障害 田布施西小学校:自閉症・情緒障害、知的障害 東田布施小学校:自閉症・情緒障害、知的障害 城南小学校 :病弱、知的障害、肢体不自由 田布施中学校 :自閉症・情緒障害、知的障害 	、通級指導教 、通級指導教 :	室			
事業の経費	— 千円(No.7の事業経費に含まれる)					
事業の成果と課題	幼保小中連携会議により成果と課題の共有化るついて共通認識した。 保健センターと情報の共有や連携を強化するたるだけ早い段階での就学に向けた相談や、関係税な就学に繋がっている。 また、「身体に関する結果通知」に加え、「知的多るように改善し、就学前の相談体制の構築に努めた課題としては、各学校の校内コーディネーターのれるべき個々の児童・生徒に適した指導や支援のす必要がある。	め、5歳児発 機関との連携を き達検査の結 た。 つ役割の重要	達相談に参加し、でき を図ることにより、適切 果」についても通知す 性や学校全体で行わ			
評価	B 特別支援学級や通級指導対象の児童生 支援を行うため、支援の方法や研修の					

施策名	ふるさ	と就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課		
事業の名称	キャリ	ア教育推進事業				
事業の概要	,	ウ・職業的自立に向けた勤労観、職業観等 育の推進と進路指導の充実を図る。	を身に付ける	るためのキャリア教育・		
事業の実績	・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導 ・1/2成人式、志教育の奨励 ・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言					
事業の経費	- 千円(No.13の事業経費に含まれる)					
事業の成果と課題	キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、志教育や栄光の旗顕彰式が行われている。 上記2つの事業については、「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実施することが重要であり、今後は、保護者や地域と連携し、上記の事業等を通じて、地元の良さをさらに気付かせる必要がある。					
評 価	В	将来の夢や目標に対して、児童生徒が意識を堅持できるよう、事業を				

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課	
事業の名称	コミュニティ・スクール(CS)推進事業			
事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりを 新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学			
事業の実績	[麻郷小 4回] [田布施西小 4回] [東田布施小 4回] [城南小 4回] [田布施中 4回] 学校運営協議会 50,000円×5校=250,000円			
事業の経費	250 千円			
事業の成果と課題	H27 年度から中学校、H28 年度に小学校でコミュニティ・スクール(CS)が始まり、組織としての運営も軌道にのり、地域との繋がりもできてきた。その中でCS委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールが目指す方向性について各校の実態に応じて確実に進んでいる。 今後も、CS 合同委員会(学校小中連携部会と地域協育ネット部会)の開催を始め、小中一貫の教育推進に向け、学校・家庭・地域・行政等社会総がかりでの学校地域協働活動を進めていきたい。			
評 価	B コミュニティスクールが始まり数年級 いて成果や課題を正確に把握する必要		、目指す方向性につ	

施策名	学校給食セン	ターの効率的な運用	担当課	給食センター	
事業の名称	学校給食センター運営事業				
事業の概要	成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」をとおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付けられる、多様で豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。				
事業の実績	 ・給食対象校 小中学校 5 校 ・年間給食回数 180 日 ・年間給食 210,916 食 ・給食費収入額 55,679,720 円 ・米飯 週4回 パン 週1回 ・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 93.6% ・管理栄養教諭による、小学校への学校給食巡回訪問 30 回 				
事業の経費	62,854 千円				
事業の成果と課題	食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下している。今後もこの取組を継続していく。 食中毒の発生や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底する。 就学時に児童が安心して学校給食を食べることができるように、町内6園の年長園児を対象にした給食試食会を実施した。 老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。 現在、町職員(調理員)が3人である。2年後には町職員が1人となるため、今後の運営が円滑にできるよう検討していく。				
評 価	児童生 A ある。	徒の健全な発達のため、安定し 今後、職員の人数等課題はある た食事提供を図られたい。			

事業の点検評価票(社会教育)

No.19

施策名	社会教育施策	の充実	担当課	社会教育課	
事業の名称	生きがい教室	開催事業			
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、高齢者の生きがいづくりを図っている。各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に生きがい教室を開催する。(講座運営費 年1,500円を徴収)				
事業の実績	【修了証書授与者】城南公民館26人、西田布施公民館51人、東田布施公民館49人、麻郷公民館31人、麻里府公民館38人 <u>合計 195人</u> (経費内訳:講師謝金、消耗品費等)				
事業の経費	346千円				
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人から50人程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組んでいる。内容は、防災・防犯、健康に関することや、小・中学生とのふれあいの会、研修旅行など多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組活動がされている。				
評 価	A 公民館だよりの内容でも教室の雰囲気のよいことがうかがえる。引き続き意義のある活動を行っていただきたい。				

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課		
事業の名称	学校·家庭·地域連携協力推進事業				
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、- 進するため、放課後子ども教室事業の企画・運営を		の交流の場づくりを推		
事業の実績	・放課後子ども教室(9 教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「城南こころ教室」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」、令和元年度新たに「成器塾(麻郷小)」を開講 ・CS・地域協育ネット合同研修会(2回) 中央公民館にて熟議(7月8日)、夏期研修会(8月29日)、事例発表(2月27日) ・家庭教育支援推進事業 児童支援、子育て支援講座、簡易朝食づくり ・オープンスクール事業 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3補助、補助額 1,297千円) (経費内訳:賃金、講師謝金、消耗品費、通信運搬費等)				
事業の経費	2, 204 千円				
事業の成果と課題	各地域の放課後子ども教室の指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもたちが同じ活動に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育的効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。令和元年度から麻郷小学校で「成器塾」を開催したことにより、全小学校区での放課後子ども教室の開設となった。また、学習支援ボランティアバンクを活用し、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの支援活動に努めている。統括コーディネーター1名を配置し、地域と学校の連携・協働を推進している。				
評 価	A 放課後教室は活発に行われ軌道に乗っ として他の学校の活性化に活かしても	ている学校			

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課		
事業の名称	成人式開催事業				
事業の概要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成11年4月2日から平成12年4月1	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成11年4月2日から平成12年4月1日までの出生者。			
事業の実績	・成人式行事 開催日時 令和2年1月4日13:00~ 会場 西田布施公民館 対象者 151人 (H30 146人) 出席者 109人 (H30 105人) (経費内訳: 賞賜金、消耗品費、印刷製本費、1	食糧費等)			
事業の経費	520千円				
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を実施している。				
評価	A 新成人が自主的に内容・運営方法を協 であり、今後も継続されたい。	議して開催	することは良いこと		

No.22					
施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課		
事業の名称	人権教育推進事業				
事業の概要	田布施町人権教育推進協議会が中心となって、 会等を開催する。また、町広報への掲載などの活! みの人権学習を推進する。		,		
事業の実績	・人権教育講座開設事業 人権教育学習講座(中央公民館、参加者 延73人) 10月 3日「人権について」(台風により中止) 鳥枝 浩二先生 10月10日「よりよい人間関係を築くためのアンガーマネジメント 小林 洋子先生 10月17日「日常の人権」〜心にとどくことば〜 谷 茂子先生 ・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約200人) 11月23日ピアノコンサート「障がいを超えて」 ピアニスト 礒村靖幸 先生 県事業「市町人権教育促進事業」 人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130千円) ・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年6回)				
事業の経費	475千円				
事業の成果と課題	人権教育学習講座は、テーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会は、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。 課題としては、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定団体の人に限られるため、広く町民への周知、啓発が必要である。				
評 価	A 引き続き人権教育推進協議会を中心に 大会等の充実に努めていただきたい。	、人権教育	講座、人権教育推進		

施策名	社会教	社会教育課				
事業の名称	青少年	Fの健全育成事業				
事業の概要			義と連携し、「家庭充実)充実を図り、家庭教育			
事業の実績	・田布施町青少年健全育成町民会議 事業としては、機関紙の発行、標語等の立看板の管理、中学生の交通安全反射ベスト購入補助、小学生や保育園児・幼稚園児へのあいさつバッジ配付、街頭補導活動などや体験活動事業として、8月にカヌー教室を実施した。 ・家庭教育支援推進事業として、すべての保護者の方が安心して子育てできるよう、「家庭教育支援チーム」を中心に地域の様々な活動を支援。 ・オープンスクール事業として、次年度小学校へ入学する年長園児と保護者を対象に学校見学、授業見学、給食試食会等を実施。 開催日 開催校 参加人数 10月28日 東田布施小学校 146人 10月28日 城南小学校 21人 11月1日 麻郷小学校 63人 11月1日 田布施西小学校 63人 11月1日 田布施西小学校 102人 ※家庭教育支援推進事業、オープンスクール事業は県の学校・家庭・地域連携協力推進事業の対象事業。					
事業の経費	700₹	午円(経費内訳:補助	カ金※町民会議への補助	助金)		
事業の成果と課題	家庭教育推進事業として、子育てにおける悩みや不安を抱えている保護者を対象とした「家庭教育支援チーム」を8名で構成し、児童支援、子育て支援、教育用品シェアリング、子育てカフェを有効に開催することができた。また、オープンスクール事業として、小1プロブレムの解消をめざし、各入学予定小学校で授業参観、給食試食、小学生とのふれあい活動を実施し、保護者への啓発が、青少年の健全育成に大いに寄与している。					
評 価	А	青少年健全育成品	T民会議と連携し、事	業の継続に勢	努めていただきたい。	

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課				
事業の名称	地域公民館まつり開催事業						
事業の概要	10月から11月の時期に各会 公民館まつり、文化祭、文化原		のり実行委員会	会の企画運営により			
	○開催状況						
	区分	時期		参加者数			
	田布施町文化展(中央公)	10月19日		100			
	城南公民館まつり	10月20日		800			
事業の実績	麻郷公民館まつり	11月 3日		900			
	麻里府文化展	11月10日		450			
	西田布施文化祭	11月 3日		800			
	東田布施公民館まつり	11月17日		750			
	(経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)						
事業の経費	430千円	430千円					
事業の成果と課題	各公民館において地域住民の協力で開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ機会となっている。 毎年、多数の協力者が参加し、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。課題としては、高齢化が進む中で、若い後継者が育っていない状況にある。						
評 価	B 地域活性化のため、 だきたい。	B 地域活性化のため、引き続き地域公民館まつり事業に取り組んでいた					

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課			
事業の名称	公民館運営事業					
事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技のイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務など					
事業の実績	 ・中央公民館 (施設利用状況) 686件、8,137人(H30 823件、8,719人) ・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月) (施設利用状況) 561件、6,940人(H30 625件、8,317人) ・西田布施公民館、子ども料理教室(8月)、球技大会(9月) (施設利用状況) 1,679件、27,618人(H30 1,851件、31,730) ・東田布施公民館 球技大会(5月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(6月、2月)(施設利用状況) 842件、8,682人(H30 895件、8,299人) ・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 648件、7,370人(H30 672件、7,581人) ・麻里府公民館 盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 315件、3,307人(H30 332件、3,776人) 公民館使用料合計 1,873千円(H30 2,049円) (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等 					
事業の経費	18, 580千円					
事業の成果と課題	各公民館において、地域の拠点として行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。利用者数の減少は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸館業務を停止したためである。 麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子どもたちとの関わりが希薄になっており、地域との連携を深める活動に努めている。 各館とも講座などの利用者が減少しているため、公民館講座利用者について、使用料の半額免除制度を導入している。					
評 価	A 地域の連携を深めるにあたり、公民館 コロナ等の影響はあるが、引き続き活					

施策名	豊かな	文化の継承と	創造		担当課	社会教育課		
事業の名称	公民館施設管理事業							
事業の概要	各公国	と館施設の維持	寺管理を行う。					
事業の実績	城西東麻麻竹国小 震中診城経 経費	分館 分館 一司分館 断、耐震化工 ・・城南・麻郷・ ・の結果、中央 所、麻郷公民館 内訳)	S56年建築 S61年建築 S62年建築 S55年年建築 S52年年建築 H 6年 H 6年 大公民 H 6年 大公民 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会 大会	公民館は耐震無 に事完了(H23	610.65 1,079.09 613.9 613.6 360.8 176.3 237.9 199.9	1 m 9 m 3 m 8 m 8 5 m 3 7 m 9 9 m		
事業の経費	18, 8	34千円						
事業の成果と課題	施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は、築後51年が経過しており、建物の老朽化のため、雨漏りを完全に 防げず応急措置で対応している。また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2 階の X 方向(東西方向)のみが、Is 目標値「0.60」に若干足りない「0.53」となってい る。 他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の 検討が課題となっている。							
評 価	С	中央公民館の	の老朽化は重	大な課題であ	り、早急な対	対応を求める。		

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課			
事業の名称	図書館管理運営事業					
事業の概要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、移動校等との連携、ボランティアと協働した活動により読					
事業の実績	・図書館利用状況 購入冊数 1,639冊(H30 1,698冊) 蔵書冊数 92,655冊(H30 91,581冊) 貸出冊数 78,096冊(H30 81,575冊) 登録者数 15,333人(H30 15,054人) 利用者数 32,597人(H30 33,439人) ・移動図書 8箇所を巡回 4,543人(利用者数) 9,120冊(貸出冊数) ・読書感想文コンクール 10月27日~11月9日 応募作品1,087点 ・読書貯金通帳 通帳の配布(4月1日~) ・第27回図書館まつり 2月15日 読書感想文コンクール表彰等 631人(参加者数) 読書貯金通帳のグレートリーダーを表彰 各小3名、中1名 ・クリスマス会 12月21日「おはなしの会」主催 52人(参加者数) ・ボランティア「おはなしの会」 9回開催 延281人(参加者数) ・読書会「七草」 9回開催 延50人(参加者数) ・朗読ボランティア「もやいの会」 22回開催 延112人(参加者数) ・点訳ボランティア「ほおずきの会」 34回開催 延161人(参加者数) ・点訳ボランティア「ほおずきの会」 34回開催 延161人(参加者数) ・ブックスタート事業「ブックスタートパック」を贈呈 83人(4ヶ月乳児) (施設)・田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855.23㎡					
事業の経費	13, 872千円					
事業の成果と課題	図書館の利用実績の減少は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉館により、開館日数が減少したためである。子どもの読書活動については、第二次子ども読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校等の社会全体で計画的に推進していく。読書貯金通帳事業、読書感想文コンクール事業は、学校等と連携し事業促進に努めた。また、多くのボランティアの方にご協力をいただきながら活動を進めている。 課題として、情報通信機器の急速な発展に伴い、読書離れが進んでおり、今後も引き続き良書の確保と、資料の収集・整理に努める必要がある。 施設管理では、男子女子便所改修(洋式化)を行い、高齢者等に配慮した施設の改善ができた。					
評 価	A 幼稚園・保育園・学校等との連携、ボ 読書活動の普及・啓発に努めている。	ランティア	と協働した活動など			

No.2	8										
施		策		名	豊かな文化の継承と創造		担当課	社会教育課			
事	業	の	名	称	郷土館管理運営事業						
事	業	の	概	要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示を開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。						
	業				・元宰相佐藤栄作と寛子展2月1日~2月23日 来・大波野神舞イラスト・写真展	3名 2名 25 31 4 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	也 1,209.				
#	禾	v)	小土	貝	0,000 1						

事業の成績	果と課題	歴史・文 度は、外 建物/ が発生し 貸借当者	藤兄弟宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の 化の研究・紹介などに努めているが、入館者数も年々減少傾向にある。今年 出を控える傾向もあり、来館者数は減少した。 は従来から問題が多く、漏水や結露による不具合や火災報知器の誤作動など した。当該建物は建築・改築から相当の年月が経過しており、設備についても 切(平成元年)設置の冷暖房設備等の老朽化など課題も多い。このため、喫緊 かの対応が必要となる。
評	価	В	事業は充実しているが、施設の老朽化が進んでいる。また、駐車場の 位置が分かりづらいこともあり、入館数に影響が出ていると思われる。

施 策 名	豊かな	よ文化の継承と創造	担当課	社会教育課			
事業の名称	埋蔵フ	文化財調査事業					
事業の概要		緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財認 の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画		· . · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
事業の実績	麻鄉 •単独事	 ・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業(委託金 96.87% 20,052千円) 麻郷奥団地発掘調査事業 20,052千円 ・単独事業 発掘調査関連事業 12,889千円 					
事業の経費	34, 9	34, 940千円					
事業の成果と課題	国営緊急農地再編整備事業の計画については、田布施町内で2遺跡(八頭遺跡見用遺跡の発掘調査と前年度実施し、下小田遺跡・東森国遺跡の報告書の刊行を行い、町内4団地を試掘調査した。試掘調査の結果、4団地の内2団地(新川・本町区地及び中郷団地)は特に重要な遺跡は発見できなかった。西田布施・友石団地と計団地については圃場整備事業に即した遺跡の記録保存が求められる。これに行い、圃場整備事業の完遂に向けては埋蔵文化財センターなどの調査機関の協力も行ながら、計画のスケジュールや職員の管理を含めて慎重に対応したい。						
評 価	B 引き続き事業の適正な執行を継続されたい。						

施策名	スポー	ーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課		
事業の名称	スポー	ーツ推進体制強化事業				
事業の概要	体力にの機会の	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。				
事業の実績	町 中[山」 (柳 桜 等・ ・スポー	・スポーツ推進委員 町スポーツ推進委員会 2回開催 (スポーツ推進委員 10名) 中国地区スポーツ推進委員研修会(岡山県津山市) 6月22,23日 山口県スポーツ推進委員研修会 (柳井市・田布施町・平生町・周防大島町・上関町) 6月1,2日 桜まつりロードレース大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会 等で指導・協力 ・スポーツ推進計画策定委員 田布施町スポーツ推進計画の進捗状況や課題等を踏まえ中間見直しを行い、計				
事業の経費	455千日	455千円				
事業の成果と課題	めて行く	スポーツ推進計画の改定が終了し、今後は新しい計画に沿ってスポーツ行政を進めて行く。現状の課題としては、スポーツ推進委員の高齢化が進んでおり、今後新たな人材を育成する必要がある。				
評 価	В	スポーツ推進委員を中心に、スポーツ 引き続き関係団体と連携し事業に取り				

施策名	スポー	ーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課		
事業の名称	生涯ス	スポーツ推進事業				
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる 「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとり一スポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。					
事業の実績	・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」(町補助金 350千円) クラブ員数 13団体329人(H30 350人) 会員親睦交流大会 7月6日 約300人(参加者数) ・田布施町スポーツ少年団(町補助金 350千円) 団員数 11団体、 201人(H30 230人) 結団式 4月29日 220人(参加者数) 町スポ少専門部会 2回開催 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 7月25日~27日 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 12月1日 県認定員養成講習会 11月30日、12月1日 ・田布施体育協会(町補助金 1,250千円) 会員数 14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会 12月8日 31チーム(H30 46チーム) ・たぶせスポーツまつり実行委員会 (町補助金 400千円) たぶせスポーツまつり 10月13日 約1,400人(H30 約1,000人)					
事業の経費	2,064千円					
事業の成果と課題	各団体とも自主運営を推進し、イベント等での協力を通じて地域スポーツの活性化に貢献している。 課題としては、町内一周駅伝については役員・ボランティアの高齢化や、現在のコースでは選手の安全確保が難しくなっている点等を踏まえ、全体的に見直しをする必要がある。					
評 価	В	引き続き事業の適正な執行を継続され	たい。			

施策	名	スポー	ツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課		
事業の名	称	我がま	ちスポーツ推進事業				
事業の概	ぜ 要	「生涯 及を図る	スポーツのまち田布施」の実現を目指す―。	つの取組とし	て、ウォーキングの普		
事業の実	¥ 績	・実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 11月30日 約100人(H30 約100人) 魅力再発見ウォーキング 年26回実施					
事業の経	養費	一 千円 (田布施スポーツクラブと連携)					
事業の成果と	課題	スポーツを通じた地域交流の促進・活性化を図るため、令和元年度改定の「田布が町スポーツ推進計画」において、ウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付け事業の推進に取り組んでいる。具体的にはウォーキングマップを配布し、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングを実施している。 今後の課題としては、ウォーキング人口を増やし健康増進を図るためには、魅力的なコースをどんどん開拓していく必要がある。					
評	価	A	田布施スポーツクラブと連携し、「生涯 のため、ウォーキングの普及に努めて		- · · · · · · · · · · · · · · ·		

施策名	スポーツ・レクリエーシ	ョンの振興	担当課	社会教育課				
事業の名称	スポーツセンター管理	スポーツセンター管理運営事業						
事業の概要	施設を安全・快適に利	用できるよう、円滑に管理・	運営を行う。					
事業の実績	・施設利用状況 第1体育館 16, 455人(H30 16, 581人) 第2体育館 26, 049人(H30 24, 543人) プール 3, 684人(H30 3, 719人) グラウンド 12, 396人(H30 11, 893人) 弓道場 3, 645人(H30 4, 390人) テニス場 2, 455人(H30 2, 569人) 艇庫 50人(H30 32人) 施設使用料合計 2, 829千円(H30 2, 781千円) (施 設) (単位: r 第1体育館 S57年建築 S 造平屋建 728.5 第2体育館 S58 年建築 S 造平屋建 1, 221.6 プール上屋 H26年建築 S 造平屋建 914.6 リ 更衣室 S57年建築 RC造平屋建 118.8 弓道場 S62年建築 木造平屋建 295.6 艇庫 S58年建築 S 造平屋建 295.6							
事業の経費	20, 214千円							
事業の成果と課題	施設の利用人数は、ほぼ横ばいである。グラウンドの夜間照明は、令和2年度にスポーツ振興くじ助成金を活用し、LED 照明への更新工事を行う予定である。第1体育館は老朽化が進んでおり雨漏りも多く、全面的な大規模改修も視野に入れて検討して行く必要がある。 大晃機械工業と施設命名権の3年契約を結び、愛称が「TAIKO スポーツセンター田布施」となり、各施設に新しい看板を設置し、雰囲気は変化したが、施設自体は老朽化が進んでおり、命名権料を有効に活用していきたい。							
評 価	B 施設の安全・ たい。	快適な利用のため、円滑	に管理・運	営を行っていただき				

4 今後の取組について

事業の点検及び評価の結果を十分に精査し、効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、 学識経験者の知見をふまえ、事業の見直し、改善を進めます。

また、自然災害の重大化・多発化、新型コロナウィルスの蔓延等、取り組むべき重要な課題が 発生している昨今においては、何よりも安全を最優先とし、児童生徒が安心して学習できる環境 を整えることが肝要と考えます。

今後、目まぐるしく変わる時代に対応していくため、必要となる資質、能力の育成や情報化への対応、特に情報を読み解く力や、それにより新たな価値を創生する力、そして学びを人生や社会に生かそうとする児童生徒の育成を図ってまいります。